

平成 26 年度下水道革新的技術実証事業の評価結果について（下水処理研究室分＋下水道研究室分）

●平成 25 年度に採択された下記の 2 技術については、平成 25 年度に引き続き、技術の完成に向けて平成 26 年度の実証研究が行われたが、十分な成果が得られ、ガイドライン化が図られた。今後は、技術の普及展開に向けて取り組まれることを期待する。

平成 25 年度採択技術

- ① 脱水・燃焼・発電を全体最適化した革新的下水汚泥エネルギー転換システム技術（メタウォーター（株）・池田市 共同研究体）
- ② 下水道バイオマスからの電力創造システム技術（和歌山市・日本下水道事業団・京都大学・（株）西原環境・タクマ（株） 共同研究体）

●平成 26 年度に採択された下記の 5 技術については、実証施設の設置が完了し、データの取得も順調に進み、当初目的に対し一定の成果が得られた。今後は、四季変動を含めた通年運転データの取得による運転性能の把握、安定性の確認などが必要なことから、平成 27 年度も引き続き研究を実施し、ガイドライン化を図ることが望ましい。

平成 26 年度採択技術

- ① 下水バイオガス原料による水素創エネ技術（三菱化工機（株）・福岡市・九州大学・豊田通商（株） 共同研究体）
- ② 高効率固液分離技術と二点 DO 制御技術を用いた省エネ型水処理技術（前澤工業（株）・（株）石垣・日本下水道事業団・埼玉県 共同研究体）
- ③ 無曝気循環式水処理技術（高知市・高知大学・日本下水道事業団・メタウォーター（株） 共同研究体）
- ④ ICT を活用した効率的な硝化運転制御の実用化に関する技術（（株）日立製作所・茨城県 共同研究体）
- ⑤ ICT を活用したプロセス制御とリモート診断による効率的な水処理運転管理技術（（株）東芝・日本下水道事業団・福岡県・（公財）福岡県下水道管理センター 共同研究体）

●平成 26 年度に採択された下記の技術については、実証施設の設置が完了し、データの取得も開始しており、当初の研究目的に対し、一定の成果が得られた。今後は、通年のデータを取得し、実降雨による浸水低減効果の確認等が必要なことから、平成 27 年度も引き続き研究を実施し、ガイドライン化を図ることが望ましい。

平成 26 年度採択技術

- ICT を活用した浸水対策施設運用支援システム実用化に関する技術（日本上下水道設計（株）・広島市・日本ヒューム（株）・（一社）日本下水道光ファイバー技術協会 共同研究体）